

△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
△	- 改正	JSK	市川	18.05.15	△					
△					△					
使用規格										
定格	電流	DC 1.25A max (電源用) (i.e. A1, A4, A9, A12, B1, B4, B5, B9, B12) DC 0.25A (その他)								
	電圧	20V AC								
使用温度範囲		-20℃ ~ +80℃ (温度上昇含め), 95% RH max.(結露無いこと)								
保存温度範囲		-30℃ ~ +80℃ (梱包状態), 15% ~ 70% RH								
	項目	試験方法	規格			QT	AT			
1	外観、構造、仕上げ	目視にて確認する。	物理的な破損が無いこと。			0	0			
電氣的性能										
2	耐電圧	嵌合状態でテストする。 AC100Vの電圧を1分間印加する。	絶縁破壊が無いこと。 遮断電流が5mAを超えないこと。			0	-			
3	電圧降下	開回路電圧：20V DC 試験電流：3A	GND：250mV VBUS：500mV			0	-			
機械的性能										
4	ケーブル引張り耐性	EIA 364-38B ①ケーブルのヘッド部を固定する。 ②プラグ部から500mm離れたケーブルに軸方向40Nを1分間掛けること。	1us以上の電氣的瞬断がないこと。 物理的な破損が無いこと。			0	-			
5	ケーブル屈曲試験	EIA 364-41 嵌合状態でテストする。 ①速度：13cycle/min ②cycle：100cycle ③角度：総120° (左右各60°) ④負荷：1lbf(4.45N)	1us以上の電氣的瞬断がないこと。 物理的な破損が無いこと。			0	-			
6	こじり強度	垂直方向の力をプラグの4方向に加える。 (左、右、上、下) ① 0~0.75Nm(容器の先端から15mmで50N)の力をテスト固定部のプラグに4つの方向それぞれ加えられる。 0.75Nmで10秒間滞在する。 ② 2.0Nm(上下)で滞在する。 3.5Nm(左右)で滞在する。 4つのテスト方向に対しそれぞれ新しいプラグでテストする。	① 物理的な破損が無いこと。 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 試験器具からプラグが分離されるあるいは機械的に破損があること。			0	-			
7	4軸瞬間短絡	垂直方向の力をプラグに加える。 (5mmボールプローブ) レセプタクルのシェル先端から15mm地点のプラグに上/下/左/右各方向に20Nの力で10秒間加える。	4軸それぞれ1us以上の電氣的瞬断がないこと。			0	-			
参考			製 図	設 計	検 図	承 認	出 図			
			J.H.BOO 18.02.23	S.K.JANG 18.02.23	H.J.LEE 18.02.23	T.S.KANG 18.02.23	DEPT 18.05.30 ENG			
注 QT：確認試験，AT：製品検査，O：適用項目										
図番			製品CLコード			製品名				
JLC4-632547			CL 6240-0018-1			CX60-24S-1000-C				
HRS HIROSE KOREA.CO.,LTD						製品規格表			1 2	

## 適合試験グループ

Para.	試験項目	試験グループ								
		A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	外観、構造、仕上げ	1	1	1	1					
2	耐電圧		3							
3	電圧降下	4								
4	ケーブル引張り耐性	2								
5	ケーブル屈曲試験	3								
6	こじり強度		2(①)	2(②)						
7	4軸瞬間短絡				2					

**参 考**

1) 上記表の数字は各検査グループの順番を表示する。

注 QT：確認試験，AT：製品検査，O：適用項目

図番	製品CLコード	製品名
JLC4-632547	CL 6240-0018-1	CX60-24S-1000-C